

ミ ュ ビ シ キ

Crocethia alba



分類	チドリ目シギ科
特徴	冬羽では全体に白っぽく、黒い翼角の目立つ小形のシギ類。日本には旅鳥または冬鳥として全国に普通に渡来する。
生活	日本では3～5月と8～10月頃に、数十羽の群れが砂浜の海岸や干潟で見られ、時には川岸にも現れる。本州や九州では越冬する地域もある。日本のシギ類の中ではもっともよく砂浜を利用する種類で、波が引いた場所に餌をとりにくる。行動はちょこまかしていて活発で、餌は小形の甲殻類などの小動物である。
声	地上で採餌している時には、「キリリ、キリリ」などと、小声で早口に鳴くことがある。また飛翔中には「フィーフィー」と鳴くという。
見分け方	ハナシギとはほぼ同大で、くちばしはやや短い。夏羽では頭から胸が赤褐色で、背面は赤褐色と黒の斑である。冬羽では、背面は明るい灰色で翼角の部分が黒が目立つ。
時期	(月) - - 3 4 5 - - 8 9 10 - -
その他	全長(L) 19cm 翼開長(W) 38cm
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥	